



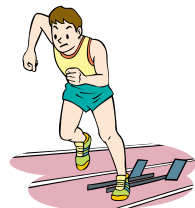
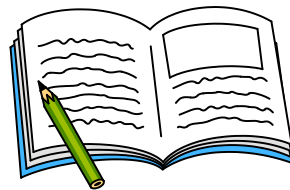
相手を理解するということ

私たちは、様々な人との関わりの中で生活をしています。その中で、一つ考えてほしいことがあります。それは、どのようにして相手を理解するかということです。特に、家族や友達のように、自分にとって身近な存在の人に対して、考えてほしいのです。皆さんの多くは、きっと「家族や友達のことはよくわかっている」と思っているでしょう。でも、本当にそう言い切れますか？私は、自信がありません。自信がないから、努力をしなければならないと思っています。その一つが「会話」です。普段から、お互いにいろいろな話をするように心がけています。このとき大切にしていることは、しっかり「聴く」ということです。うわべで聞かれていると相手を感じたら、それは、かえってストレスを与えてしまうことになります。身近な存在であればあるほど、大きなストレスになるかもしれません。「聴く」という文字は、「耳+目心」でできていると言われて、なるほどなあと思ったことがあります。耳だけでなく、目と心を働かせて、相手の言うことをしっかり受け止めるように「聴く」姿勢が大切です。本当の意味で相手のことをわかろうとするために、しっかり「聴く」ことから始めてみませんか？



次の目標は？

中間テストや全国学力・学習状況調査（3年）が終わり、早いもので、今日で5月も終わりです。6月には、もう期末テストがあります。それに先立って、3年生は「学習の診断」が始まります。進路選択に向けて実力を知るために、毎回大切なテストです。



また、陸上部を皮切りに、地区総体が始まります。多くの部は7月に入ってからです、油断していると、すぐに大会が迫ってきます。

さあ、皆さんの次の目標は何ですか？勉強のこと、部活動のこと、いろいろ考えられますね。具体的な目標を持って地道に努力を重ねることが大切です。また、結果を追求することも大切ですが、その過程で「〇〇ができるようになる」といった目標を掲げることも必要だと思います。自分自身に合った目標、少し負荷をかけることで達成できそうな目標を設定して、毎日を大切にしていきましょう。

<三中生のちょっとした話>

先週の木曜日の朝、三中坂の下の押しボタン信号のところで立哨をしていると、おうちの方に送ってもらってきた C さんが「先生、土手の方で自転車が何台か止まっています。車も止まっていた。」と知らせてくれました。「もしかして、事故では・・・。」と急いで行ってみると、Dさんの自転車の後輪の軸にゴム紐が絡まってしまったのを、友達5～6人で何とかしようとしてくれました。その中の E さんは、油で手が汚れるのをいとわず、ゴム紐を引っ張って悪戦苦闘してくれているところでした。結局はさみで切って、自転車に乗って行くことができましたが、雨が降る中、友達のピンチを助けようとする三中生の優しさに感激しました。また、給食の運搬の時に、Cさんは「朝の人たちは大丈夫でしたか？」と私に尋ねてきました。あのあとも、心配してくれていたんですね。ありがとう。

